

環境変化に対応した市民サービスの向上を目指して

コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、日常生活や市の施策も動き出しております。様々な地域イベントも再開し、市内におきましても、地域活動や観光に訪れる方などでにぎわいが見られていることは、喜ばしい限りです。

6月1日から開催された丸亀市議会6月定例会では、条例の一部改正や、塵芥収集車を含む物品購入等の議案についてご審議いただき、全て可決されました。議案の内、主な補正予算は以下のとおりです。

・コミュニティ助成事業補助金	170万円
・マイナポイント予約・支援事業	2,000万円
・産後ケア交通費補助金	84万円
・がん患者医療用補整具助成金	110万円

近年、国の施策や私たちを取り巻く環境の変化は、地域社会に大きな影響を及ぼすものとなっています。市民の皆さまが、安心して市民サービスを受けられる体制づくりをより充実させるため、各施策について、必要に応じて今後も対応してまいります。

まだ梅雨明けの兆しは見られず、昨今の気候変動による梅雨時期の台風や、線状降水帯が引き起こす災害について、引き続き注視しなければなりません。

市民の皆さまにおかれましては、防災情報の入手や避難所の確認など、災害に備えていただくとともに、初夏を感じさせる暑さが入り混じった今の時期には、熱中症にも注意していただき、元気に毎日を過ごされますようご祈念申し上げます。

令和5年6月23日

丸亀市長 松永 恭二